

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2019.05 >

BULLETIN

2018年7月～2019年6月



国際会長 Moon Sang Bong「私たちは変えられる／挑戦への勇氣」(韓国)  
アジア会長 田中博之「アクション／誇りと喜びを持って」(東日本区)  
東日本区理事 宮内友弥「為せば、成る／ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズ  
に対して何が出来るかを考えて実行しよう」(東京武蔵野多摩)  
関東東部部長 衣笠輝夫「良いものを見つけ、つなげて、よくなる」(埼玉)  
クラブ会長 佐野 守「希望を持って前進」(グリーン)

会 長 佐野 守  
副 会 長 西澤 紘一  
々 浅見 隆夫  
書 記 布上征一郎  
会 計 柿沼 敬喜  
副 会 計 浅見 隆夫  
担当主事 木村 卓司

### 5月 母の日

ちょうど母親がその子供を大事に育てるように、わたしたちはあなたがたをいとおしく思っていたので、神の福音を伝えるばかりでなく、自分の命さえ喜んで与えたいと願ったほどです。

(テサロニケの信徒への手紙 2:7, 8)

### 2019年 令和元年 05月 第一例会

日時:2019年05月15日(水) 18:30～20:30  
場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター  
1階 YMCAホール  
江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565  
受付:根本君/司会:柿沼君  
佐野会長  
開会点鐘 佐野会長  
ワイズソング・ワイズの信条 全 員  
聖句・お祈り 古 平 君  
ゲスト、ビジター紹介 佐野会長  
食事(一言添えてニコニコ献金)  
メンバースピーチ  
「光ファイバーの創世記」  
～ガラスの歴史と未来～  
(株)プライムネット取締役・工博 西澤紘一 メン  
各委員会報告 事業委員長  
YMCA 情報 木 村 君  
Happy Birthday  
(5月:青木メン・目黒メン)  
ニコニコ発表 浅見ク君  
閉会点鐘 佐野会長

### E F J E F 強調月間

E F : エンダウメント基金とは、国際のワイズ運動発展の為の特別基金です。個人やクラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事などのおりに寄付金を国際協会に送り積み立てます。基金評議会が管理し、その運用で得られる益金を各エリアの申請に応じて配分しています。US \$ 120以上の寄付の場合、寄付者名と記念事業等が「ゴールドブック」に記載され国際が永久保管致します。東日本区では今年度目標500スイスフラン＝約62,500円達成に向けてご協力をお願いしています。

国際・交流事業主任 小原 史奈子(東京たんぼぼ)

J E F :  
東日本区ワイズ基金(Japan East Fund)は東日本区活性化の為に使われる大事な基金です。部、クラブ、個人の記念行事等に奉げるばかりでなく、JEFを覚えての積極的な献金も大歓迎です。

「中期会員増強運動展開」の支援やアジア・太平洋地域大会に寄与する等、大事なイベントに際して東日本区を支える基金となっています。5月は、JEF強調月間となっていますので、例会でのスマイル等をJEF献金として捧げて頂ければ幸いです。

ワイズ基金運営委員長 高田一彦(千葉)

(理事通信 5月1日号より転載いたしました 布上 )

【例会出席率】 在籍:18名 メーキャップ 2名 出席率 14/18 78%  
出席:2019年04月例会 (メン12名、メネット1名 計13名)  
4月例会 ニコニコ献金 13,000円 (今期累計 89,100円)

＜2019年04月 第一例会 報告＞

日時:2019年04月17日(水) 18:30~20:30  
場所:東陽町コミュニティーセンター YMCA ホール  
出席:青木・柿沼・木村・古平・佐野・西本(東)・西本(晃)・布上(征)・根本・樋口・目黒・森川  
布上(信)メネット 13名

ワイズメンズクラブ国際協会は2022年に創立100周年を迎える。東日本区発足の1997年の時点で1246名の会員数であったものが、2018年7月1日には860名と毎年減少を続けており、このままいくと近い将来、ワイズ運動の継続に重大な危機を迎えることになる可能性がある。

そこで東日本区では、今期よりワイズ創立100周年となる『2022年をゴールとする中期会員増強運動』、即ちクラブ改革、組織改革を進めながら、会員増強運動を開始することになった。(東日本区HPより引用)

その運動のスタートとして東日本区より、全クラブ、全会員へのアンケートを実施することになり、4月に、グリーンクラブの例会ではアンケート項目に対する意見交換、EMCに対する討議などの時間を持つことにした。アンケートへの回答は各個人でネットで回答するか、郵送で送るか、責任をもって実施することにした。

グリーンクラブの現状も上記のような「メンバー減少」の趨勢は止まらず、チャーター後45年の現在、メンバーは半減している。退会者と入会者がバランス取れず漸減している。会員の獲得は、CS事業「神田川船の会」の開催を機会に、その活動に興味のある人をサポーターとして募集し、クルーズのガイドにもチャレンジしてもらい、その後、ワイズの活動にも関わって、さらに入会へと繋げていきたいと努力をしているが、多くは望めない。

アンケート項目への意見、その他の発言では

- ・各YMCA自体の活動への理解が足りないのでは？
- ・他クラブとのCSの協働、大規模のCSを検討しては。
- ・CS事業などで劇的にインパクトのあるメニューを検討。
- ・例会などでの歌、儀式などには違和感がない・・・多数
- ・ほかの項目では個人個人で多少、差があるので割愛。

\*次期会長研修に出席して講師の講演やパネル討論を聴いて、寄稿された西澤メンの文章を以下に掲載。とてもいい、貴重な意見です。

(布上記)

＜EMCへの課題と私見：西澤＞

1、会員の新規勧誘

(勧誘母体を明確化する。ユースのOB、YMCAに繋がる保護者、学YのOB、OG、神田川船の会に連なる人脈、特に担当主事との連携を密にしてYMCAにシンパシーを有する周りの人脈の紹介等)。

今後開設されるSNSの利用

(ボランティアを指向している潜在人材は多いはず、ただ機会ときっかけがない)

2、現会員の確保、特に退会を避ける。例会の持ち方、例会以外のイベント、交流を活性化する。

町散歩、写真を撮る会、俳句の会、本を読む会……など趣味を生かした小集会を積極的に開く。

(千代田区などのPR誌に載せるだけでも何人かは勧誘可能?)

\*\*\*\*\*

＜2019年04月 第二例会報告＞

日時:2019年04月10日(水) 18:30~20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館5F  
出席:青木・浅見T・佐野・木村・柿沼・布上S・樋口目黒・西澤

配布資料: 「東日本区からアンケートの依頼」

報告・連絡事項

- ① 3月9日~10日  
次期クラブ会長・部役員研修会代々木オリンピック青少年センター 西澤次期会長出席
- ② 3月23日(土) 東京サンライズクラブ30周年記念例会 於:ブラッセリー東洋(日本橋) 出席:青木・浅見T・布上S
- ③ 次々期関東東部 部長選出  
＜部長 柿沼 / 部書記 布上 / 部会計 佐野: 次期金丸部長に報告済み＞

審議・協議事項

- ① 4月11日(木) 第29回東京YMCAチャリティーゴルフ / 佐野・柿沼・西本(晃)・浅見・布上参加 PGM総成ゴルフクラブ: 120名募集(30組)募集のところ129名(33組)の参加申し込みあり
- ② 4月27日(土) 川越クラブ20周年記念例会 於:川越東武ホテル 出席予定:青木・柿沼・佐野・布上S
- ③ 5月25日 東京YMCA会員大会 在京会長会・主事会 柿沼幹事、木村主事出席
- ④ 6月1日(土)~2日(日) 第22回東日本区大会 / 代々木オリンピック青少年センター【個々申込み】 参加者:青木・浅見T・木村・柿沼・佐野・布上N 布上S・目黒
- ⑤ 7月19日(金)~21日(日) 第28回アジア太平洋地域大会 仙台国際センター【個々申込み】 参加者:青木・柿沼・布上S
- ⑥ 卓話者候補  
4月 スピーカー無し / 「ワイズメンズへのアンケート」をもとにEMCフリートークとする。  
5月 西澤メン メンバースピーチの予定  
6月 メンバースピーチ 今期を振り返り一言  
7月 キックオフ例会 東京YMCA菅谷総主事に講演を依頼する。(木村)
- ⑦ 6月16日(日) 横浜つるみクラブチャーターナイト 参加 佐野会長・浅見副会長・布上書記 3名
- ⑧ 2019年会員芸術祭 日程決定 期間 6/24~29 6/22 10:00~:会場設営 14:00~:オープニングセレモニー (イヴェントはウクレレ演奏)  
\*展示用ボード(パーティション)の清掃 5月18日 (土)10:30~
- ⑨ 次年度ロースター 内容確認 / クラブ内役員人事 / ・2019年6月退会者(森川メン・平林メン確定) ・次期キャビネット・青木副会長を加える

(布上 記)

## 関東東部第3回評議会に参加して



2019年4月20日(土)東京YMCA東陽町センターにて今期最後となる「第3回評議会が開催されました。午前10時30分より恒例となった「部役員引継ぎ会」が新旧両役員出席のもと、現部役員から今期の活動状況および今後の改善点等についての説明がなされた後、次期役員候補者と質疑応答が交わされました。

午後からは評議会が開催され、まずは、現関東東部部長はじめ事業主査および各クラブ会長からの活動報告より始まり、部の会員数の増減状況、新クラブ(仮称:千葉ウエストクラブ)設立準備委員会の進捗状況、また東日本区役員会としてEMCプロジェクト(2022年までに東日本区設立当時の会員数:1,246名の回復を目標とする)が設置・承認され、早速、全会員対象にアンケートを実施する等の報告がありました。次に議事・協議に移り、衣笠部長の議長のもと全ての提出議案が承認されました。

休憩をはさんで、4時からは「次期クラブ役員研修会」が行われ、今期役員と交代して次期の部役員および各クラブ会長・キャビネットの出席のもと、次期の理事方針、関東東部部長方針、区の各事業主任の方針についてのガイダンスがあり、最後に次期書記から「各クラブへ提出書類の期限厳守」について強い要望がありました。なお、金丸次期部長からは部のレクレーションとして10月12日(土)の第80回神田川船の会開催時に船一艘を部で借り切りたい旨の計画が発表され、我がグリーンクラブとしても協力するとの返答をしました。詳細は後日に煮詰めますが、クラブの皆様もご承知おき下さい。

最後に私事ですが、この度、次々期(2020/7~2021/6)関東東部部長に推挙されました。クラブの皆様のご支援、ご協力なくしてはこの大役を全うすることはできません。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

参加者:西澤、布上、柿沼 各メン (柿沼 記)

\*\*\*\*\*

## 第29回東京YMCAチャリティーゴルフ



2019年4月11日(木)標記コンペが恒例の成田市PGM総成ゴルフクラブで127名の参加者にご協力い

ただき、快晴、桜満開の下開催された。鈴木雅博実行委員長以下、ワイズの実行委員、YMCAの諸君の事前準備、当日の采配、すべて完璧に行われ、50万円以上の支援金も寄贈できた。グリーンの西本兒子メンは女子の部優勝でした。(寄付金の使途は4p-YMCA報告に記載)

グリーン参加:西本・柿沼・佐野・浅見・布上

(布上 記)

## 川越クラブ20周年記念例会に出席して



2019年4月27日(土)、川越クラブ20周年記念例会が川越東武ホテルにて開催された。

第I部記念例会 森下会長の開会点鐘、来賓祝辞は、埼玉YMCA総主事小谷全人氏、田中博之アジア地域会長、宮内友弥東日本区理事と続く。森下会長から記念品



贈呈、吉野書記から「川越クラブ20年の歩み」が発表された。

第II部記念講演。講師はベリ・ドゥエル氏(東京国際大学名誉教授)の「川越いもの歴史と未来」と題しく紅あかいもの歴史を講演。氏は川越いもの会

会長。第III部懇親会は、衣笠関東東部部長の乾杯で、見事なジャズバンド演奏を堪能しながらの食事とアルコール。そして思い思いの相手と歓談。

アピールはもちろんアジア地域大会(仙台)への参加を!



あつという間に時間は過ぎ、吉野実行委員長挨拶で閉会となった。川越クラブの皆様、おめでとうございませう。グリーンからは青木・佐野・柿沼・布上参加。(布上 記)

\*\*\*\*\*

## 第100回Yわい歌の広場 報告

東京YMCA東陽町センターで毎月第二木曜日の午後、2時~3時に行われている標記の会が今月100回を迎えました。年間、8月を除き11回、もう9年にもなります。近隣の高齢者、男女50から60名もが参加、



会費は200円です。お茶とお菓子が出ます。毎回12曲くらいをピアノ伴奏での合唱です。皆さんお楽しみです。お世話をしているのは写真左から、龍野・布上・青木吉田・布川・木村・宮本・沖の皆さん(撮影者は金本さん)

(布上信子 記)

## 第5回「アンセルメの芸術・展覧会の絵」



モデスト・ムソルグスキー作曲 (1839-1881)  
組曲「展覧会の絵」(モーリス・ラヴェル編曲)  
エルネスト・アンセルメ指揮(1883-1969)  
スイス・ロマンド管弦楽団 (1959年録音)

1874年ムソルグスキー35歳のときの作品です。前年1873年親友であった建築家・画家V・ガルトマンが亡くなり翌年にその遺作展覧会が開催され、その印象をピアノ組曲として発表しました。後にクーゼヴィツキという指揮者がラヴェルに管弦楽への編曲を依頼し1922年にパリで初演されています。

曲は絵画をテーマにした10曲に、「プロムナード」と呼ばれる「ガルトマンを讃えるテーマ」が5回挿入され、展覧会を見て歩く作曲者の気持ちを表します。初めはトランペットで肅々と奏されますが、その後は絵の曲想と合わせたり亡き友に思いをよせたりし徐々に表情を変え組曲全体をつなぎ大きなスケール感を創り出しています。それぞれの曲では様々な楽器が活躍し楽しく時が過ぎます。そして偉業をたたえる終曲「キエフの大門」は圧巻です。TV番組では「ナニコレ珍百景」のテーマ曲にもなりました。

スイスの大指揮者エルネスト・アンセルメ(1883-1969)は、1918年にジュネーヴでスイス・ロマンド管弦楽団を創設し、以降1966年まで58年にわたり音楽監督を務めました。フランス近代音楽、ロシア国民楽派音楽、ストラヴィンスキーなどを得意とし、楽団特有のさわやかな弦、きらびやかな管の響きで一世を風靡しました。

このレコードはその代表作のひとつ。当時のデッカの録音がすばらしくステレオ全体がブンブン響きました。20年前に初めて生演奏を聴いた時、オリジナルのピアノ曲は、編曲によりラヴェルの曲に生まれ変わったことに気づきました。まるでホール全体が楽器になったような魅力的な管絃楽曲に変身したのです。

(樋口 順英 記)

- ▲ 山手会館の耐震補強及び内装リニューアルの改修工事が完了し、3月19日に引っ越しが行われた。1階ロビーに開放的なスペースが設けられ、会館全体にブランディングのモチーフを取り入れるなど、会館を訪れる人たちが安全に心地よく利用できるさまざまな工夫が施された。
- ▲ 21年にわたり世田谷区奥沢で保育事業を行ってきた保育室「チャイルドケアセンター」が2019年3月末をもって閉館した。替わって同じ世田谷区の希望ヶ丘団地の一角に「YMCA保育園ねがい」を運営することになり、7月の開設に向けて準備を進めている。
- ▲ 4月11日、「第29回東京YMCAチャリティーゴルフ大会」を千葉県成田市のPGM総成ゴルフクラブで開催し、127名が参加した。支援金516,000円はフレンドシップファンド(経済的困難を抱える家庭の子どもたち支援)や、障がい児及び不登校児支援活動のために用いる。
- ▲ 4月13日、「第23回高石ともや Bangladesh 奨学基金チャリティーコンサート」が日本基督教団浅草教会で開催され、約100人が来場した。当日は松本数実氏(国際統括)から来場者に感謝が述べられ、Bangladesh子ども教育支援について報告をした。東京YMCAが支援をしているBangladesh YMCAの学校で学ぶ子どもたちの奨学金として、コンサート益金から15万円をご寄付いただいた。
- ▲ 各学校の入学式が以下の通り行われた。
  - ・社会体育・保育専門学校 4月2日  
(日本基督教団霊南坂教会) 新入生 125名
  - ・国際ホテル専門学校 4月4日  
(日本基督教団霊南坂教会) 新入生 135名
  - ・医療福祉専門学校 4月5日  
(国立市民芸術小ホール) 新入生 54名
  - ・にほんご学院 4月5日  
(社会体育・保育専門学校演習室) 新入生 38名
  - ・高等学院 4月13日  
(山手センター1階ホール) 新入生 9名
- ▲ 今後の主な行事予定
  - ・第17回会員大会 5月25日(山手センター)
  - ・第22回会員芸術祭 6月22日(オープニング)  
6月24日~29日(会期)(東陽町センター)
  - ・YMCA保育園ねがい開所式 6月29日  
(保育園ねがい)
  - ・第20回アジア・太平洋YMCA大会 9月2日~6日  
(東山荘)  
<担当主事 木村 記>